

【事業実施の背景】

- 大阪市阿倍野区、住吉区、東住吉区の3区は、古くから住宅地として発展した地域で、戸建木造住宅、長屋建共同住宅が多い
- 3区は全国平均、大阪市平均を上回る空き家率で、住宅の老朽化が進行しており、経済的、防災的にも空き家の利活用が課題

【事業の特徴】

- 空き家再生を手掛ける社団法人において、宅建士、司法書士、建築士等の有資格者が、空き家の利活用の相談、耐震診断、リフォーム等の提案を実施
- アンケート調査、現地調査により、建物の維持管理調査を実施

総合相談窓口

■ 相談窓口の設置場所

(一社)既存住宅・空家プロデュース協会 事務所

■ 相談対象者

- 大阪市阿倍野区、住吉区、東住吉区の3区内にある戸建住宅、長屋建て住宅の空き家所有者
- 空き家の活用を検討する者 等

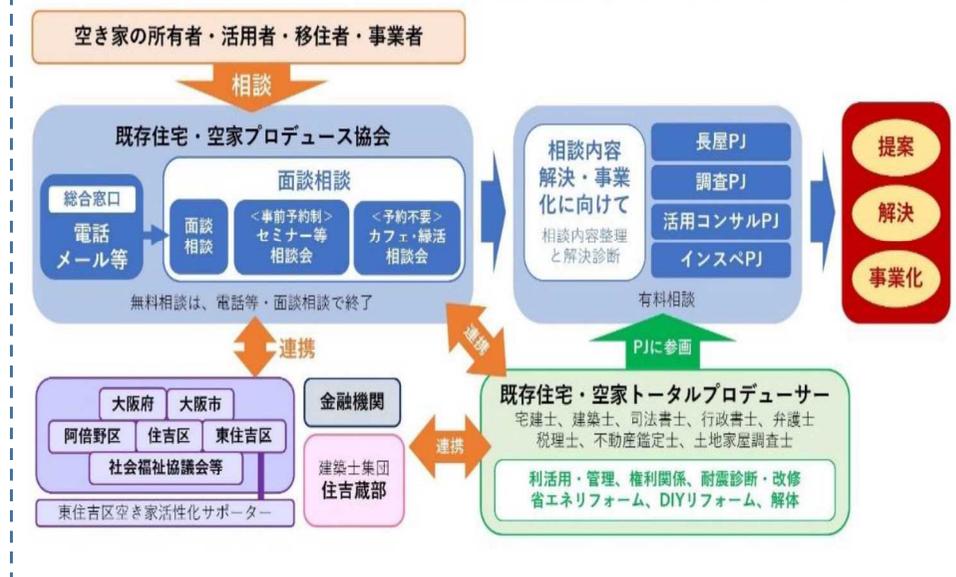
■ 特徴

- 宅建士、司法書士、建築士等の専門資格を有する者であって、当法人の独自の認定資格を有する者が相談に対応
- 長屋編空き家相談ヒアリングチェックリスト(暫定版)を作成し、長屋建て空き家の相談に対応

その他のモデル的な取組

- 困難事例への取組み、今後の空き家対策の方策の検討

相談 → 調査・診断 → 提案 → 解決・事業化



平成30年度実績

■ 総合相談窓口

対象地域内に所在する個人住宅等の所有者からの相談	40件
対象地域内への住替又は移住検討者からの相談	1件
地域内で事業を実施しようとする利活用検討者からの相談	9件
その他	6件

- セミナー・相談会(8回) 参加者:126名 相談:11組
- 出前講座・相談会(2回) 参加者: 66名 相談: 6組
- おうちカフェ(8回) 相談:12組
- 「住まいの相談会」(4回) 相談: 6組

事業の成果

- 行政から紹介された特定空家寸前の空き家の案件を解決することができた
- 社会福祉協議会等の多様な事業者と接点を持つことができ、今後の連携活動に繋げることができた

今後の課題

- 効果的なセミナー、相談会等の開催に向け、開催回数、場所、連携機関、受付方法等の検討
- 長屋建て住宅の課題について、所有者、隣戸居住者の理解の促進

今後の事業展開

- 空き家相談について、利活用だけでなく、維持管理も含め、空き家を負の遺産にしないための取組みを進める
- 長屋編空き家相談ヒアリングチェックリスト(暫定版)の本格的な改訂を検討する